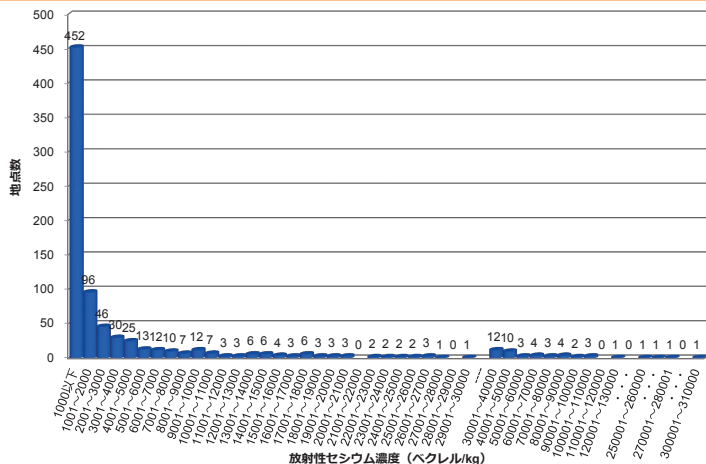


# 湖沼底質（分布）

湖沼（底質）の放射性セシウム濃度ごと（1,000ベクレル/kg）の頻度（平成25年度）



※平成25年度調査結果（宮城県(76)、福島県(501)、茨城県(6)、栃木県(31)、群馬県(95)、千葉県(32) 計811地点）

平成25年度水環境放射性物質モニタリング結果（環境省 水・大気環境局）

2013（平成25）年度も2011（平成23）年度、2012（平成24）年度に引き続き、湖沼の底質の放射性セシウム濃度の調査が行われました。福島県でのべ501地点、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県を含めて、のべ811地点で調査が行われました。

調査の結果から、ほとんどの地点では、放射性セシウムの濃度は3,000ベクレル/kg以下であることがわかりました。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2014年3月31日

：2015年3月31日

本情報は2013年の情報で、事故から現在に至る途中経過の情報です。

関連Q&A

- ・3章 QA1 モニタリングの実施状況について教えてください
- ・3章 QA2 セシウムをはじめとする放射性物質の汚染状況の調査はどうなっていますか
- ・3章 QA6 河川・湖沼のモニタリングの実施状況はどうなっているのですか
- ・3章 QA12 雨水や日常食のストロンチウム90やセシウム137はどのようにすれば測れるのですか
- ・3章 QA21 昔の核実験でできた放射性物質が今も残っているというのは本当ですか
- ・3章 QA23 1980年まで行われていた大気圏内核実験で生成したストロンチウム90やセシウム137が、現在でも一般の環境に残っているのは、なぜですか